



まちの話題

= TOWN TOPICS =



長年続く托鉢浄財の寄附活動

利根西部仏教会寄附 12/17

利根西部仏教会の高野良賢さん（寿命院）、山岸文英さん（泰寧寺）の2名が来庁し、令和7年11月7日に行われた托鉢で集まった浄財から7万円の寄附をいただきました。

この活動は長年続けられており、毎回有効に活用させていただいております。この寄附金は、町の福祉向上のために役立てていきます。



▲山岸文英さん（左）、高野良賢さん（中）、阿部町長（右）



29年目を迎える社会貢献活動

関工務所手作りベンチを町へ寄贈 12/2

株式会社関工務所（川場村）より、木製ベンチ6台を寄贈していただきました。利根沼田地域の市町村や学校にベンチを寄贈する同社のこの活動は今年で29年目を迎えます。

同社と協力業者の会である清和会の職人によって丹念に手作りされた温かみのあるベンチは大変好評であり、町内施設等に設置し、毎年有効に活用させていただいております。



▲左から関敏孝さん、澤口総務次長、砂山政志さん、関真一さん



アウトレットセールの売り上げから寄附

株式会社BMZが町へ寄附 11/25

インソールなどの製造販売を行う株式会社BMZ（高橋毅取締役社長）より、アウトレットセールの売上から獣害対策の10万円を含む合計20万円を寄附していただきました。

今回のアウトレットセールでは、足の無料測定会や鍼灸師による足の状態チェックとフットケアマッサージ、キッチンカー出店など多数のイベントが同時に開催され、多くの方が来場しました。



▲宮崎秋人さん（左）、中島啓安さん（中）、阿部町長（右）



家族や仲間とチームワークでたすきを繋ぐ

第19回みなかみ町駅伝大会 11/9

町内の陸上クラブが中心となり、みなかみ町駅伝大会が開催され、小学生の部・一般の部・混成の部に合わせて24チーム144名が参加しました。

タイムを競う部門のほか、チームごとにあらかじめ予想タイムを立て、そのタイムに近い順で順位を決定するトリムの部があり、日頃の練習の成果を発揮するとともに、終始和やかな雰囲気の中で競技が行われました。



▲次の走者にたすきを託す



写真で見る



まちの話題

= TOWN TOPICS =



自主防災組織「まると鹿野沢支援隊」

防災避難訓練を実施 11/12

鹿野沢地区の自主防災組織「まると鹿野沢支援隊」のメンバー30名が役割分担を行い、大雨の想定で自力避難が難しい要支援者を避難所へ送迎する避難誘導訓練を実施しました。

また、健康チェックや非常食の試食のほか、防災用品などの備蓄品を紹介し、保存水や非常時備蓄品を入れた防災バックの常備など、災害時の備えを呼びかけました。



▲要支援者の避難誘導訓練



いざというときの災害に備える

地域防災研修会を開催 11/8

みなかみ町保健福祉センターを会場として、27名の参加者が命を守る災害への心構え、被害を最小限におさえる減災の考え方、防災マップの活用について学びました。また、避難所用備蓄品の展示のほか、西消防署職員から心肺蘇生法とAEDの取り扱いについて、救急法講習会も行われました。

町では、「自助」・「共助」・「公助」の連携強化に取り組み、安心安全な町をめざしてまいります。



▲被害を最小限におさえる「減災」について学ぶ



子育て支援センター「汽車ぽっぽ」

親子で楽しむクリスマス会を開催 12/4

子育て支援センター「汽車ぽっぽ」では、クリスマス会が行われ、町内外から多くの親子が参加しました。女声合唱団「フレッシュンド」の有志「Bell・Coro」の皆さんによるコーラスやミュージックベルなどの演奏が行われ、会場は優しい歌声と音色に包まれました。

クリスマス会の最後にはサンタクロースに変身した阿部町長が登場し、こどもたちと保護者へプレゼントを手渡しました。



みなかみ町地域子育て支援センターでは、就学前のこどもと保護者を対象として、交流の場を提供しています。町内だけでなく、町外の親子もご利用いただけます。



「みなかみネイチャーポジティブプロジェクト」における貢献を称え

みなかみ町と日本自然保護協会から三菱地所に貢献証書を授与 11/10

みなかみ町と公益財団法人日本自然保護協会は、三菱地所株式会社へ「ネイチャーポジティブ貢献証書」を授与しました。これは、単に自然の損失を止めるだけでなく、積極的に回復させる「ネイチャーポジティブ」という世界的な潮流の中、企業版ふるさと納税を通じた支援など、「みなかみネイチャーポジティブプロジェクト」における同社の貢献を称えるものです。



▲日本自然保護協会 出島特任部長（左）、三菱地所 雨宮専任部長（中）、阿部町長（右）



▲森林整備現地調査

このプロジェクトは、自然の恵みを守り育み、地域経済の活性化も目指しています。三菱地所は、町有林（相俣地内）での広範な森林再生を通じて年間14.0tもの地下水涵養に貢献し、月夜野ホテルの里では絶滅危惧種5種の保護・生息数増加を実現しました。また、希少生物の調査や保全活動、地域住民への啓発にも尽力し、みなかみ町の生物多様性向上に大きく貢献しています。

町は今後も、このような企業連携をもとに、町民の皆さまと豊かな自然を未来へつなぐ「ネイチャーポジティブなまちづくり」を推進していきます。



友好都市と幅広い分野での協力を期待

台湾・台南市議会とみなかみ町議会が友好交流協定を締結 11/20

友好都市である台湾・台南市の台南市議会とみなかみ町議会は、11月20日に友好交流協定を締結しました。調印はみなかみ町議会の小林洋議長と台南市議会の邱莉莉（チウ・リィリィ）議長が行い、阿部賢一町長と黃偉哲市長が立会人として参加しました。会場は盛大で温かい雰囲気にもまれ、両議長は今後の交流の発展に期待を寄せました。

小林議長は「関係がより深く続くことを期待する」と述べ、邱議長も経済・教育・スポーツ・文化など幅広い分野での協力を示しました。みなかみ



▲台南市議会ホールにて調印式参加者で記念撮影



町と台南市は2013年の友好都市協定以降、マンゴー祭りや中学生の海外派遣事業など、活発な交流を続けています。



写真で見る



まちの話題

= TOWN TOPICS =



畳の上の静かなる熱い戦い！

上毛かるた大会が開催される

12/7,12/13

町の上毛かるた大会では、各地区の子ども会・育成会から99名の選手（個人4名、団体28チーム）のエントリーがあり、試合では日頃の練習の成果を発揮していました。また、各部門で優勝した選手・チームは、郡大会へ出場しました。

利根郡子ども会上毛かるた大会では、町大会を勝ち上がった代表選手16名（個人2名、団体3チーム）が、真剣勝負を繰り広げました。町の代表からは、小学生低学年団体、高学年団体（ともに町組）と中学生個人（布施）が優勝し、令和8年2月15日（日）に行われる県大会に出場します。



▲みなかみ町代表は全員入賞



▲一瞬の攻防



▲耳を澄ませて取り札を探す

まちづくり協議会だより 第79号

問 まちづくり協議会事務局（企画課）

☎ 0278（25）5030

諏訪峡の遊歩道周辺整備事業

あけましておめでとうございます。小日向地区では、利根川の景勝地「諏訪峡」の遊歩道沿いにしだれ桜や花桃、モミジ、スイセン、彼岸花などを植栽し、水辺の清流と一体となった魅力ある景観づくりを進めています。この取り組みは、訪れる観光客へのおもてなしの気持ちを込め、水上温泉への観光誘致にもつなげ、地域の活性化を目指すものです。

しかし、これまで植栽地の維持管理を担ってきた地区のボランティアは高齢化が進み、特に夏の草刈り作業が困難な状況となっていました。そこで今回、水上アウトドア連合会のご協力により16名の若手が参加し、植栽地および遊歩道周辺の草刈り作業を実施していただきました。

今回のように、地域のさまざまな立場・年齢の方々が活動に参加していただくことで、連帯感が生まれ地域の活性化がさらに進むことを期待しています。引き続き皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

まちづくり協議会水上支部 小日向地区 木村直治



▲生い茂った草を刈払って景観を保つ



▲作業を終えて集合写真